

# スクラム



## アイマスク体験の感想文

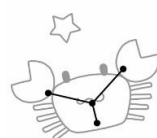
- 視界が暗ければできることが少ないんだなと思いました。介助役の人がいたとしても、まっすぐ歩みにくいし走ることでもできませんでした。白杖があっても、まっすぐ歩けなかったです。登校中によく会う白杖を持った人がいます。その人が全盲かどうかは分かりませんが、少し道路よりも車道側にいることがあるので、今までは話しかけられなかったけど、これからはその人に話しかけられるようになりたいです。
- 本当に目が見えない方々は苦労しているんだなあと、身をもって実感できました。介助役の人がいないと、歩くことも難しかったです。介助役の時も、うまく指示をするのが難しかったです。これからは目が見えない人がいたら、1秒でも早く助けてあげたいです。

ふみづき

文月

7月

かに座



発行日:7月8日

発行者:2年学年主任 堺



とても学びの多い  
取り組みでした。

- 目が見えない人には、時計の12時・3時・6時・9時の方向を使って説明すると分かりやすいということを学んだので、目が見えなくて困っている人に、今日学んだことを思い出して案内することができたらいいなと思いました。
- 点字ブロックの上に自転車や何か大きなものがあったら、できるだけ早くどこかそうと思いました。
- 介助役の体験をしましたが、どうしたら目の見えない人にうまく伝わるのか、どうしたらサポートできるのか、すごく難しかったです。
- 普段目をつむって歩くことや行動をしないので、いざしてみたら、どこに何があるのかが分からなくて、とても怖かったし大変でした。今回は介助役の人が案内してくれて全部できたけど、目が見えない人は今回したことを全部1人でやるのだと思うと、怖いだろうし大変だと思いました。

